賢い消費者になろう

消費せいかつ VOL.88

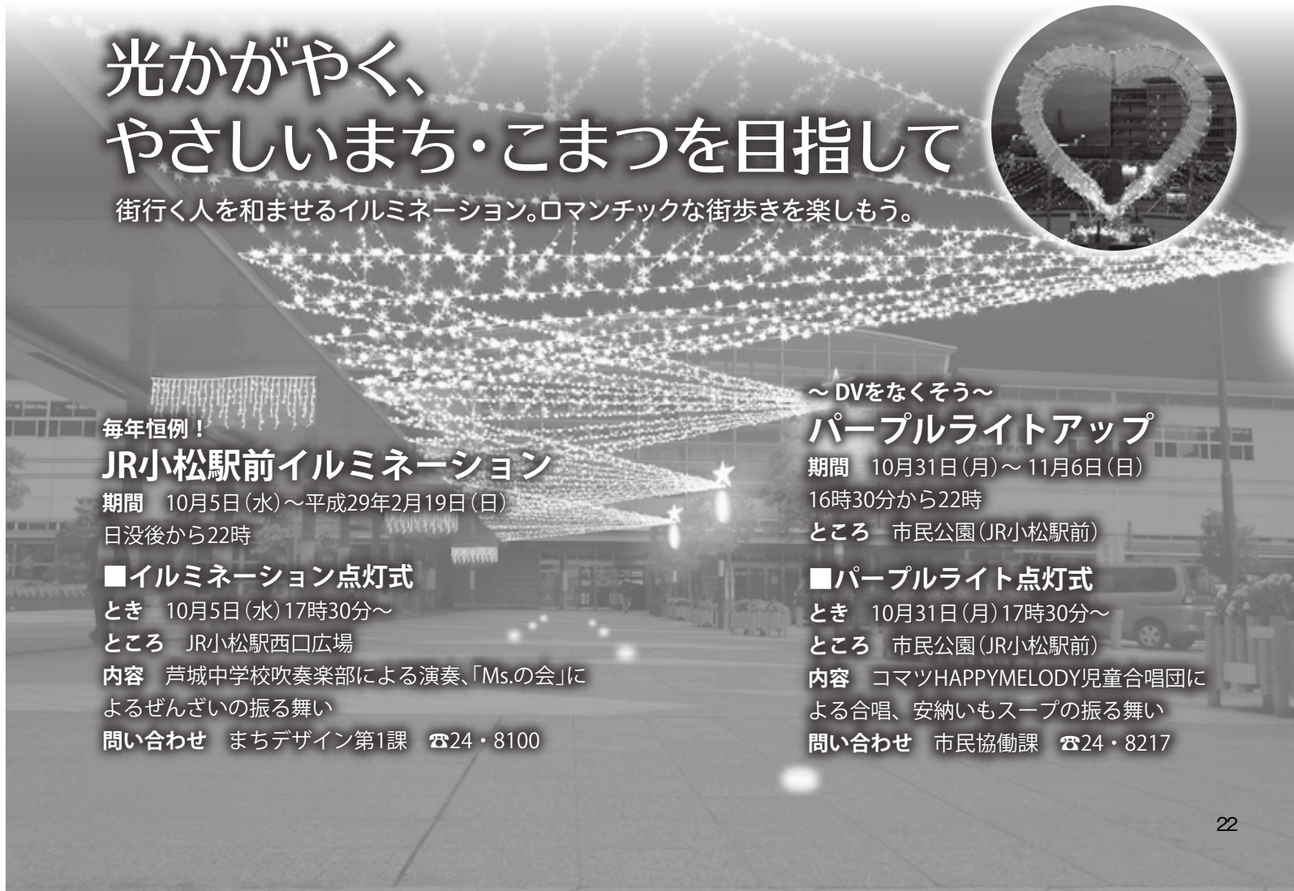
問い合わせ　あんしん相談センター　☎24・8071
消費者ホットライン　☎188

不要な布団を引き取ると言ったのに!?

事例　「布団の無料点検サービスです」と業者が訪問してきたので10枚ほど布団を出した。「いい綿なのでもったいない」と強引に打ち直しを勧められ、断りきれず承諾した。出来上がった布団を持って来たとき、初めて12万円と聞いた。解約したい。

☞ トラブル回避のポイント

◆「不要な布団を引き取る」などのうたい文句には注意が必要です。
◆業者が自宅に上がり込み、強引な勧誘をするなどトラブルにつながる可能性があります。
◆不要な勧誘はきっぱりと断りましょう。契約後もクーリング・オフできる場合がありますのでご相談ください。



大杉町の人々の暮らしを見守り続けてきた大杉神社のイチョウ（小松市指定文化財）

みまっし、きくまっし 小松の方言

連載223

加藤和夫●金沢大学人間社会学域教授・日本語学

方言談話資料に見る 小松方言の特徴　その7

―大杉町（下大杉町・大杉中町）方言の自然談話⑦―

今回も1996年に収録した大杉町での自然談話を紹介し、特徴的な方言（傍線部）について解説します。文字化にあたっては、これまで同様、表音的片仮名表記（文節分かち書き）を用い、適宜（　）内に共通語訳を付しました。なお、大杉町方言の談話資料の紹介は今回で終わり、次回からは丸山町の方言談話を紹介します。

A　ワタシラ　ソンナコトァ　ハナシテ　イチョーノキァ（銀杏の木は）　イチョー（銀杏の実が）　ナルサカイ　ウエタンデナイカト　オモトッタケンド　ヤッパリ　ソーユー　カンケーデ　コノ　オースギノホーカラ　シンマルムラネ（新丸村に）　イチョーノキガ　ヨケー（たくさん）　アルンデナイカ。ソーユー　コトモ　ユー　ヒトオイデタネー。シンマルワネ）　フユワネー　イッケン　イワナノ（岩魚の）　ヨーショク　シテオイデルンデー　ナツワ　ゴロッケン　ジブンノ　ザイサン（財産としての山）ガ　ホラ　モッテオイデッサケ　キテー　スンドルケド　フユワー　イッケン。ホシテー　フユワ　ダレモ　オランガヤ（いないんだ）　ハナタテマチ（花立町）。デ　マルヤマーネァ（丸山には）　ニケンホド　オイデルンデ　イマモ　オイデッカナー　フユ。

C　マー　フユワ　ソヤンド（そうだけども）。

A　ホトンド　オランノヤ。

B　オランノヤリャコソニャ（いないらしいことには）　ナツダケヤゾ　ナツダケ　イッケン。

A　シンマルムラヤ　マルヤマネ。ナツワ　ゴロッケン　アノ　キテオイデルワネ　ヤマノ　クワンリスルトカッテネ。

【解説】

・ナルサカイ、モッテオイデッサケ…～サカイ、～サケは共通語の「～から」にあたる接続助詞です。関西地方で生まれた～サカイが北陸地方に伝わり、後に～サケの形も生まれました。ここでは同じ話者が両方の形を使っています。

・オイデタネー、オイデルンデ、オイデッカナー、シテオイデルンデー、キテオイデルワネ…前の三つのオイデルは「いる」の尊敬表現、後の二つの～テオイデルは補助動詞「～ている」の尊敬表現として使われています。

歴史の舞台裏　連載216

【もう一つの石文化～盤持石（ばんもちいし）～】

石文化の日本遺産の認定により石の関心が高まっていますが、かつて祭礼時の一つの行事として、どの集落でも石を持ち上げて力自慢を競う「盤持」が盛んに行われていました。しかし、高度成長期以降の社会変化に伴い、娯楽の楽しみも様変わりし、「盤持」も次第に行われなくなりました。

幸いにも、使われていた石は「盤持石」として神社や公民館の一角に並べて置かれています。平成13～15年に、この「盤持石」の所在を博物館が調査したところ、90町内で322個が確認されました。いかに各集落で行われていたかが分かります。石は自然石が使われ、手取川水系では安山岩（あんざんがん）か凝灰岩（ぎょうかいがん）、郷谷川（ごうだにがわ）水系では流紋岩（りゅうもんがん）が多く用いられ、その重さは小さいものでは50キロ、大体は100キロ前後を幾種類か用意して競いました。中には、60貫（225キロ）の「仁間石（にしまいし）」と呼ばれる巨石が向本折町に伝わっており、過去に2人しか持ち上げた人がいないようです。

現在この行事は、菟橋神社の秋季例祭「西瓜祭（すいか）り」で盤持大会と銘打って、米俵と磐石（ばんせき）を使って行われています。75キロの米俵を持ち上げた者だけが120キロある「盤持石」に挑戦できます。もう一つの石文化として、この「盤持」を地域の秋祭りに、ぜひ復活したいものです。

図書館市史編纂担当　☎24・5315

▲盤持大会